

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）  
分担研究報告書

肝炎医療コーディネーター養成と適切な配置に関して厚労政策指標班との連携  
研究分担者 考藤 達哉 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター  
センター長

**研究要旨**

【背景】2016年、肝炎対策基本指針の見直しが行われた。同指針では、肝炎ウイルス検査の受検、肝炎ウイルス陽性者の受診・受療、専門医療機関・肝炎診療連携拠点病院等（以下、拠点病院）による適切かつ良質な肝炎医療の提供というスキームの中で、肝硬変又は肝がんへの移行者を減らすことが目標と設定されている。【方法】肝炎医療指標、自治体事業指標、拠点病院事業別に指標案を作成し、デルファイ法によるコンセンサス形成から指標を確定する。【結果】肝炎医療（33指標）、自治体事業（21指標）、拠点病院事業（20指標）を確定した（事業主体別指標抄を参照）。【結語】肝炎医療コーディネーターの養成数、配置状況に関する指標を確定した。次年度、自治体事業指標の運用の中で肝炎医療コーディネーター事業の課題を明らかにし、本研究班との連携から改善方法を明らかにする。

**A．研究目的**

2016年、肝炎対策基本指針の見直しが行われた。同指針では、肝炎ウイルス検査の受検、肝炎ウイルス陽性者の受診・受療、専門医療機関・肝炎診療連携拠点病院等（以下、拠点病院）による適切かつ良質な肝炎医療の提供というスキームの中で、肝硬変又は肝がんへの移行者を減らすことが目標と設定されている。しかし上記スキームの実施現状調査によると、受検率、肝炎ウイルス陽性者のフォローアップ、肝炎医療コーディネーターの養成と適正配置など、十分ではない課題が指摘されている。

今年度は肝炎等克服政策研究事業「肝炎の病態評価指標の開発と肝炎対策への応用に関する研究班（指標班）」との効果的な連携を通して、特に肝炎医療コーディネーターの養成と配置に関する改善方法を明らかにすることを目的とした。

**B．研究方法**

肝炎医療指標、自治体事業指標、拠点病院事業別に指標案を作成し、デルファイ法によるコンセンサス形成から指標を確定する。肝炎医療コーディネーター養成数、配置状況に関する指標案は自治体事業の中で作成、検討した。

**C．研究結果**

指標作成者により提案された指標を班内部で相互検討し、検討委員（専門家、自治体担当者、患者団体代表者等）に提案した。指標検討会議においてデルファイ法に沿って指標妥当性のコンセンサスを形成した。現時点で肝炎医療（33指標）、自治体事業（21指標）、拠点病院事業（20指標）を確定した（事業主体別指標抄を参照）。平成30年度の各実施体における指標運用方法を検討している。

## 【成果】

### 事業主体別指標候補（抄）

	項目	分子	分母	指標	対象
肝炎-2	肝臓癌化指標の使用	日常診療に非侵襲的肝臓癌化診断に活用している患者数	通院中・入院中のB型肝炎、C型肝炎患者数	肝臓学会「B型肝炎治療ガイドライン」 「C型肝炎治療ガイドライン」	拠点病院医師
肝炎-6	肝炎ウイルス陽性者受診率 ※「電子カルテによる陽性者アラートシステム」	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムを導入している（導入していない=0）	定数=1	「手術前に行われる肝炎ウイルス検査の結果の取扱いについて」（厚生労働省健康情報提供推進課「検査結果の取扱い」）	拠点病院現況調査
肝炎-13	初回DAA治療失敗例に対する注目目標DAA治療前のRAAS検査を実施している	治療開始前「CVRAS」検査を実施した人	C型肝炎（肝硬変）患者でDAA治療を受けた人	肝臓学会「C型肝炎治療ガイドライン」	拠点病院医師
自治体指標-13	感染症科、肝炎ウイルス検査結果通知受診率、特定感染症検査等事業分一保健所分及び受託検査機関別、健康増進事業分	初回検査後受診患者数・特定感染症検査等事業分一保健所分及び受託検査機関別、健康増進事業分	HIV抗体陽性者数、HbS抗原陽性者数（特定感染症検査等事業分一保健所分及び受託検査機関別、健康増進事業分）	健康増進事業、特定感染症検査等事業	各都道府県等に把握
自治体フォローアップ-8	肝炎ウイルス陽性者受診率	肝炎ウイルス陽性者の指定加療機関受診者数	肝炎ウイルス陽性者でフォローアップ事業同意者数	健康増進事業、重症化予防推進事業	自治体調査票
自治体指標-1	肝炎医療コーディネーター配置状況（取組場所別）	少なくとも1人の肝炎医療コーディネーターが配置されている拠点病院数	肝炎医療連携拠点病院数	肝炎医療コーディネーターの普及及び活用について（2017年10月自治体別）第4号厚生労働省健康局長通知	自治体調査
拠点病院-4	肝炎患者相談センター開設数	相談件数（数値）	定数=1	肝炎患者等支援対策事業実施要綱	拠点病院現況調査

指標（分子/分母）とは、事業改善のための目印として利用される数値表現、「プロセス」と「アウトカム」を扱う量的なツール

## D．考察

本研究班（江口班）との効果的な連携のためには、先進的な自治体での成功例を応用可能な形に一般化することが重要である。

## E．結論

平成30年度には、各自治体で肝炎医療コーディネーターに関連する指標を運用し、解析結果を基にして自治体別に課題と改善方法を見出すことが重要である。

## F．研究発表

### 1．論文発表

なし

### 2．学会発表

なし

## G．知的所有権の取得状況

なし

### 1．特許取得

なし

### 2．実用新案登録

なし

### 3．その他

